

呼吸器内科では、せきや息切れといった症状に悩む患者さんを診療しながら、呼吸器の病気の原因や成り立ち、その治療法を研究しています。肺は空気中の酸素を体内に取り込み、体内の二酸化炭素を排出する働きをする重要な役割を担います。そのため常に様々な異物（アレルギー物質や微生物、大気汚染物質など）を含む大気と接触しています。みなさんの肺は、通常それらを上手に排除しながら呼吸していますが、吸い込む異物と防御のバランスが崩れてしまうと、気管支喘息や肺炎、肺癌などを発症してしまいます。すなわち、大気中の無数の異物と、時にはそれに対する体の過度の防御反応が、呼吸器の病気の原因になります。また、全身の血液は必ず肺を通して全身に運ばれるため、全身の病気の影響を最も受けやすい臓器でもあります。免疫の異常、他の臓器の異常、治療で使用している薬などが原因となり、肺は様々な病気を発症することがあります。私たちはそれらの原因を一つ一つ突き止め、すべての呼吸器の病気を治すことを目指しています。

今回のオープンキャンパスでは、呼吸器の病気や治療、そして当科で実施している最新の研究についてのご紹介と、呼吸器疾患に関するトリビアをクイズ形式で行う予定です。